

1割強が不落・不調

新年度から一部要件緩和

国土交通省の8地方整備局が2006年度に発注した（港湾・空港関係除く）1万3137件の工事のうち、1割強に当たる1404件が不落札か不調だったことが同省の調査で分かった。不落札か不調となった工事の発生率は07年度上期時点で06年度を3割弱上回っており、件数ベースでも前年度を上回るのほぼ確実な情勢だ。同省は対応策として、08年度から河川・道路の通信設備工事の一部で入札参加要件を緩和することにも、発生率が高い歩道橋工事でも同様の措置を検討する。

同省がこのような本格 局から寄せられた発生要 的な実施調査を実施する 因などをまとめている。 のは初めて。調査では04 港湾・空港工事では、落 年度・07年度上期の工事 札者が決まらない工事の 別、価格帯別の発生状況 発生件数が年間数件程度 の経年変化や各地方整備 にとまっているため、

具体的調査は実施して いない。

発生件数の経年変化を みると、04年度には33 4件だったものの、05年 度は645件、06年度は

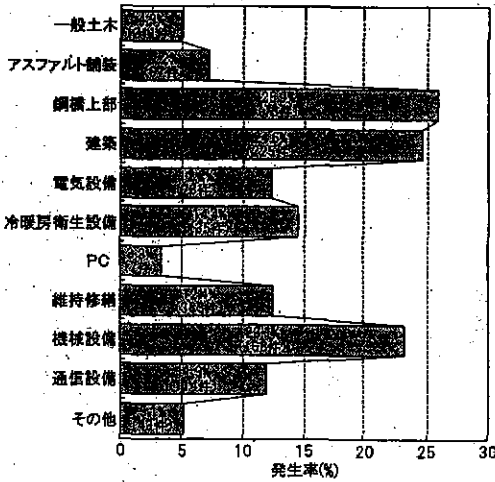
1404件と毎年倍増し ている。06年度に発生し た不落札か不調の工事の 97%は予定価格3億円未 満の小規模工事が占め、

工種別発生率は鋼橋上 部、建築、機械設備の順 で高い。

07年度は上期の時点で 前年度に比べ「その他」 以外の全工種で発生率が 増加し、建築、電気設備、 暖冷房設備衛生設備、機 械設備、通信設備の5工 種で発生率が50%を超え ている。地方整備局との 発生率は、四国が84% 増、中部が62%増、関東 が47%増と増加傾向が著 しい。

東京など大都市圏内 にある整備局の出先事務

2006年度の工種別不落札・不調工事の発生率



- ・建築には、木造建築、プレハブ建築を含む
- ・電気設備には、受変電を含む
- ・その他工種内訳：造園、コンクリート舗装、法面処理、塗装、波路、グラウト、杭、さく井

所発注工事では、不落札 か不調となった工事の4 割以上をアスファルト舗 装工事が占めている。同 省は、「交通規制が厳し い大都市圏のアスファル ト舗装工事は、採算性が 低いわりに手間がかかる ため、入札参加を見合わ せる業者が多い」（官房 技術調査課）としている。

各整備局からのヒアリの 負担が大きい工事や、 元調整などの現場条件、 仮設設計条件の明示を敷 いて現場環境が厳しい▽ 費用が確保できない工事 価格が折り合わない▽技 術者不足▽工事規模が小 さい▽工期が短い▽な どの原因が挙げられ、夜間規制 発注設備で用地収束や地 元調整などの現場条件、 仮設設計条件の明示を敷 いて現場環境が厳しい▽ 費用が確保できない工事 価格が折り合わない▽技 術者不足▽工事規模が小 さい▽工期が短い▽な どの原因が挙げられ、夜間規制 発注設備で用地収束や地

また、施工段階での改 善に向けては、発注者、 設計者、施工者、設計原 想や現場条件を確認する 3者会議の活用や、「ラ ンプレスポンス」等引 き続き推進する。